
本書の使い方

イディオム・連語の使い方をより分かりやすくするため、各見出しの中に、あえて日本語で「名詞」「人」「不定詞」「直説法」「接続法」などの文法用語を加えています。

「名詞」に関しては、対象が基本的に“人”だけの場合に「人」とし、“人以外”が対象、あるいは“人”も“人以外”も対象となる場合には「名詞」としています。

イディオム・連語にからむ語句は、～または... で表しています。不統一な使い方をしてはいますが、意図するところは理解していただければと思います。

また、理解を助けるために、～または... で表すべき箇所をアルファベットのA、Bを用いて表すこともあります。

[] は、直前の単語もしくは語句との置き換えが可能であることを示しています。/、// は、“または”を表しています。

イディオム・連語の見出し、および用例の中で使用される() は、省略の可能性を示しています。日本語訳の中の() は、意味の補充です。

*の部分の記述は、イディオム・連語の特徴、用法等に関する若干の補足です。

付属の音声には、掲載したすべての用例が収録されています。用例を、自然なイタリア語の音声で聴くことによって、学習される皆さんのイディオム・連語への理解がさらに進むことを期待しています。

見開きで1トラックとしてトラック分けされていて、奇数ページ右端上部(p.282のみ左端上部)「Traccia-1」がトラック番号です。

音声ダウンロード方法については、p.341をご覧ください。